

# 緑が丘



—「自分できめる」「みんなと決める」—  
～今日も「学校が楽しかった」～

令和8年 1月 7日発行 三木市立緑が丘小学校

明けまして おめでとうございます。  
本年も よろしくお願い申し上げます。

～躍動する「午」に、火の力の合わさった勢いのある年に～



午年(うまどし)は、エネルギーで前進する力に満ちた年とされます。馬は迅速な行動や成果を得るための努力を象徴し、情熱的な性格を持っています。この年は、変化や挑戦の年であり、過去の努力が実を結ぶ時期とも言われています。また、午年は太陽が最も高く昇る時期を表し、物事が最高潮に達することを意味します。

(Copilot Search より)

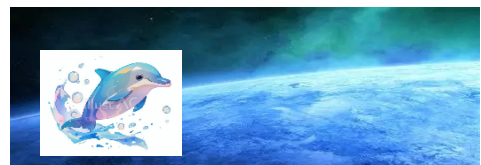
## うちゅういるか

いるか ゆうた

うちゅうがうまれて なんびゃくおくねん  
ちきゅうがうまれて なんじゅうおくねん  
ながいながい じかんのなかで  
ちきゅうに いのちが あふれてる

そんな でっかい うちゅうでおよく  
ぼっちち ちいさい ぼくだけど  
ぴかっと ひかる いのちをだいて  
いま ここ ぼくはいきている!

「うちゅうの ちゅうしんてん」になって  
きらりと とぶ



くどうなおこ『のはらうた』より

2026年の年が明けました。

それぞれのご家庭、どのような年末年始を過ごされたでしょうか。6年生は来る中学校生活、その他の子どもたちも次の学年に向けての準備の時間にもなる3学期。先を見通しつつ、日々の生活を大事にしてほしいと思います。

さて「習い性になる」という言葉があります。

「習い」とは、繰り返し練習することや習慣を指し、「性(しょう)」とは、その人が持つ性質や気質を意味します。つまり、後天的に身につけた習慣であっても、それが長く続くと、まるで元々持っていたかのように、その人の一部になってしまう、ということです。人間が繰り返し行う行動や思考パターンが、時間とともに深く根付き、変えることが難しくなる、という観察から生まれたのでしょう。

「今は、こういう時期やから」「どの子どもこんな感じやろ」「みんな〇〇」「今の子は、私らの時代とは違うから」等、大人が諦めたり時期を逸したりすることもあります。一生使える不易の力として、本来持っている良さを見出し、引き出し、やらせてみてその気持ちよさを実感させる。最初はしんどくても習慣化すれば楽になる一面もあります。生活習慣だけでなく、聴くこと、我慢すること、人との距離感等、よい習慣が身についた子どもは集団生活でのストレス耐性も強くなるのではないのでしょうか。

AIが発達し、より社会で生きていく人としての土台が問われる現在、そして新たな気持ちで迎えた2026年新春。「今年こそ」と思っている今こそ、自分に身につけている習慣をふりかえり、良いスタートをきってほしいと思います。「『うちゅうのちゅうしんてん』になってきらりととぶ(掲載詩より)」ために。

本年もよろしくお願いいたします。

(校長 佐野 順子)